

日時：平成30年(2018年)9月12日(水) 9:30～12:30

場所：市役所 3-3 会議室

欠席委員：なし

傍聴希望者：2名

委員長	<p>開会</p> <p>では、第6回宝塚市行政評価委員会を始める。</p>
委員	<p>傍聴希望者の確認</p> <p>傍聴希望者はあるか。</p>
事務局	<p>本日の傍聴者は2名である。 既に入室してもらっている。</p>
委員	<p>議題に移る前に事務局から議事録について補足説明があるとのことで説明をお願いします。</p>
事務局	<p><土地利用1 地籍調査事業についての指標について説明あり></p>
委員	<p>議題1 行政評価委員会のまとめ等の確認について</p> <p>では、議題1「行政評価委員会のまとめ等について」の審議を始める。前回の委員会でご意見をいただいた第5回行政評価委員会のまとめの修正版について確認する。</p> <p><第5回行政評価委員会の議事録について修正等意見></p>
各委員	<p><修正意見なし></p>
委員	<p>では次に、第5回行政評価委員会のまとめについて、各委員修正等ないか確認する。</p>
各委員	<p><修正意見あり></p>
委員	<p>議題2 行政評価委員会の総評等について</p> <p>次は、議題2「行政評価委員会の総評等」に移る。 私から簡単に総評等について説明を行う。資料に「平成28年度施策評価について」が配布されている。毎年、委員会で審議した内容を盛り込みこういった答申書を作成する。 総評は、委員の方々の声をなるべく生かすように私と事務局で作成する。総評部分は、自己評価が適切に行われているか、政策自体の今後の在り方について記載する。 「施策展開の方針」ごとのまとめは、各細施策において、自己評価が適切にされているか、数値や指標の指摘、政策の推進・改善についての指摘で記載されている。この2つを合わせて、答申書として市に渡す。</p>

事務局	<p>以上で、総評等について私からの説明は終わる。今後の予定については、事務局の方から説明をお願いします。</p>
委員	<p>＜今後の予定を説明＞</p> <p>行政評価について補足説明を行う。</p> <p>行政評価は、外部評価委員会で完結するものではなく、多くの人に見てもらって補完される。</p> <p>本来の意味での行政評価は、政策の効果を緻密な調査や分析に基づき、科学的に測るものである。</p> <p>ただし、市役所の全施策や全事務事業を対象に調査、分析はできない。そのため代替手段として外部評価を行う。行政は目標を決定し、業務を通して感じたことで自己評価を行う。その自己評価を知識経験者や市民で構成されたメンバーがそれぞれの持つ知識や経験から行政の自己評価が妥当かをチェックする。</p> <p>ただ、それでも完璧ではないので答申書をホームページで公開し、市民から意見がもらえることを最終的な目標としている。</p> <p>つまり、市職員が自己評価を行い、外部委員の知識で補完し、答申書を作成、その後、他の市民から意見をもらい、それを反映するのが理想の形である。</p> <p>ここまででなにか質問はあるか。</p>
各委員	<p>＜意見なし＞</p>
委員	<p>では、ここからは事務局よりまとめかたについての説明をお願いします。</p>
事務局	<p>配布資料の「施策展開の方針」ごとのまとめについて、事務局より委員の方々に3点お伺いしたいことがある。</p> <p>1点目は細施策のまとめの冒頭の文章では、自己評価について指標の適切さや記載が十分であるかについてのみ記載しており、施策の内容について記載できていない状況である。冒頭の文章の表現方法について意見をいただきたい。</p> <p>2点目は、意見や指摘の中で強調したいことや弱めたいこと、新たに指摘したいことなどがあれば意見をいただきたい。</p> <p>3点目は記載内容や指標、目標値、施策推進についてそれぞれいただいた意見をまとめて記載している。まとめの表現方法として自己評価の部分と施策推進の部分とで欄を分けて記載する案も考えられるが、この修正案について意見をいただきたい。</p>
委員	<p>3点目の事務局からの修正案について他の委員の意見はどうか。</p>
委員	<p>修正案の方が見やすく内容が理解しやすい。</p>
委員	<p>記述に関する指摘が前に来た方がいいと思う。欄は分けた方がいいと思う。</p>
委員	<p>では、事務局からの修正案を採用し、残り2点について確認を行う。</p>

<「施策展開の方針」ごとのまとめ修正等意見>

委員

各細施策ごとのまとめの修正はここまでとする。
次に、今年度の行政評価委員会における総評をまとめるに当たり、各委員から意見・講評をお願いします。

委員

全体的な感想や評価制度、宝塚市の政策、市役所の職員や組織体制の話を含んで総評にすることを考えている。
初めに私から言うと、施策評価研修を行った成果かもしれないが、担当職員の説明や施策評価表の記載方法が制度の趣旨に沿った形になり、改善された。
また、運営方法の変更も行い、過去の議事録やまとめの確認時間を短くしたので審議にかかる時間を増やすことができた。

委員

今年度は施策分野ごとに総括的に話されるようになったためか担当職員の説明がわかりやすかった。また、質疑に対して丁寧に回答いただいたのでこちらの理解も深まり、行政に対して非常に信頼がおける印象を持った。
委員会全般については、今回の分野は基盤整備分野で専門家でないとわからないことが多く、事前に調べてもわからないことが多かった。担当職員が丁寧にわかりやすく説明しようとする姿勢は何えた。基盤整備分野なので、事業進捗がなかなかわかりにくいところはあったが、そういったことを含めて説明いただけたのが良かった。
一番わかりにくかったのは政策的に大きくて難しい話だとは思いますが、コンパクトシティと都市計画との関連性が見えなかった。

委員

行政評価委員会の評価期間が3年から4年になり評価は楽になった。
分野を通して担当職員からの説明がありどこが重要でどこを頑張っているのかが見えて評価もしやすかったのが良かった。
コンパクトシティについては、昔から掲げられているがそれに関わる柱が見えなかった。もう少しコンパクトシティのビジョンが見えないと良い立地適正化計画ができないように感じる。
次の総合計画は、まちづくり協議会で地域の計画を見直し、総合計画に盛り込んでいくことを予定している。地域では、何か事業を行うというところよりもそもそも地区計画や協定などを知らない人が多い。そのため、制度に入る前の応援が重要であると思う。まちづくりの具体的な内容は担当課と言ってしまうととても担当課だけでは手が回らないように感じる。各部署の所管事業に乗る前の支援を何らかの形で体系づける必要がある。
また、指標は100%に到達したら市民が安心できるようなものを設定してほしい。

委員

評価としては、新しいやり方になり、概ねいいスタートができたと思っている。自己評価についても進歩が見られ、評価も定着していると思う。その結果を利用して改善につなげてもらいたい。
委員会全般については、宝塚市をとりまく環境の変化、例えば台風、大雨のような自然災害の問題、高齢化の問題、バスやタクシーなどの自動運転があると思う。また、宝塚市に住みたいと思う人は多いと思うが、高齢化に伴い住宅インフラの再

	<p>編という問題や多くの外国人が観光に來たりする。</p> <p>計画は計画で大事であるが、環境の変化を捉えて、事業を行うことが求められる。この委員会を通じて、決められたことをただやるだけではなく、課題を捉えて大胆な構想を練っていく精神を職員に持ってほしい。</p>
委員	<p>少しずつ分かってきたと思ったら最終回になってしまった。委員会に出席された職員は、こちらの質問についてスムーズに回答していただき、宝塚市民としては、非常に嬉しかった。今後も頑張っていたいただきたいと思っている。</p>
委員	<p>組織ごとの縦割り評価になるのはやむを得ないことだが、例えば下水道と道路の連携などは計画的に取り組んでほしい。</p> <p>市民からするとここ数年で達成できる目標値に投資するのではなく、市として目指すべき目標値の方にお金を投じてほしい。市民の満足度が高い事業でも市がやるべきかどうかの判断はこういった委員会のような場で検証されるべきだと思う。</p>
委員	<p>初めて参加して評価というものを勉強できた。これをどう生かしていくかに尽きると思う。行政評価委員会の活動が行政組織にとって自分たちの活動を見つめなおす機会、あるいは予算を見直すきっかけになればと思う。</p> <p>補足で、コンパクトシティは平成の大合併で多数の市町村が集まり、旧市役所が支所になり、多くの公民館があり、市自体が薄い形に変化した。それらの施設を集約することが、コンパクトシティの元々の始まりではないかと思う。宝塚市のような一つの市に駅が多くあるところには想像しにくいと思う。</p> <p>もう一つは、中山台コミュニティの活動を経験して感じたことだが、まちづくり計画書は住民に周知されていない。今回、各まちづくり協議会でまちづくり計画書を見直すことになっているので、住民の皆さんに周知しながら新しいものができればと思う。</p>
委員	<p>時間の都合もあるので総評についてはここまでにしたいと思う。</p>
委員	<p><委員長の挨拶></p>
委員	<p>最後に市の担当者から一言お願いします。</p>
政策室長	<p><挨拶></p>
委員	<p>閉会</p> <p>10月2日（火）16：30より、市長室にて行政評価委員会から答申を行う。それでは第6回の行政評価委員会の審議を終了とする。</p>